

けやき大通りの利活用について

道路上での利活用

目的	利活用の種類
にぎわいの創出への寄与	オープンカフェ、フリーマーケット、レンタサイクル、祭り等、その他イベント、広告塔
憩いの場の形成	モニュメント、噴水・せせらぎ

道路の維持管理等について

	取組等
道路施設等の維持管理	道路パートナー
その他	ムクドリ対策

歩道等を利用して、カフェを屋外に設置する例が、欧米等で多く見られるが、近年、わが国でも社会実験等で実施され、にぎわいの創出に寄与している。

オープンカフェの事例(横浜市)



日本大通りのオープンカフェ

<経緯>

平成17年度 社会実験を実施。
当時の既存沿道店舗3店が参

加

平成18年度 「日本大通活性化委員会」設立
オープンカフェ(4店舗)を実施

平成22年11月 2店舗が営業中。
(2店舗は中断。)

<概要>

実施主体:日本大通活性化委員会

占用:協定に基づいた管理を原則に実行委
員会が一括占用

参加者:各店舗の出店場所は委員会が調整
出店料:2600円/m²・月

①オープンカフェ

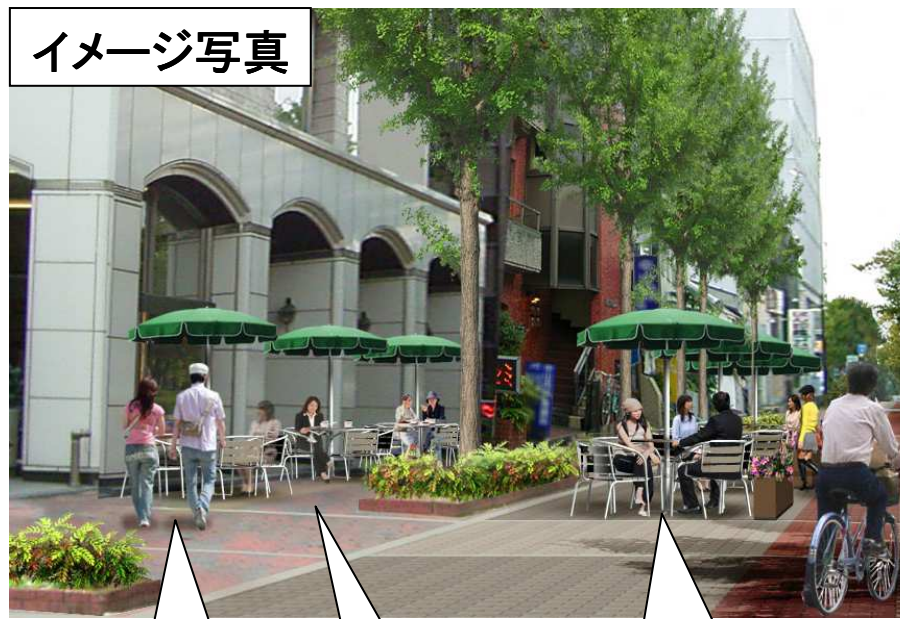
けやき大通りでの実施イメージ

イメージ写真



オープンカフェ
1列目 (2.0m)

イメージ写真



オープンカフェ
1列目 (2.0m)

歩行空間
2.0m確保

オープンカフェ
2列目 (2.5m)

②フリーマーケット

個人が商品を持ち寄って開催する市場が、まちおこし等の目的から開催される事例が見られ、にぎわいの創出に寄与している。

「手づくり市場(マーケット)」(和歌山市 けやき大通り)



主催：野外アートプロジェクト実行委員会
実施日：第3土曜日
占用箇所：112箇所
(1箇所につき2.7m×2.7m)
占用料金：免除



②フリーマーケット

路上での市場として以下のようなものがあり、日本各地で開催され、にぎわいの創出へ寄与している

「飛騨高山朝市」(高山市)



実施主体: 飛騨高山宮川朝市協同組合
開催時期: 毎日 6時~12時
主な店舗: 野菜、果物、お漬物、味噌、民芸品等
60店舗前後

参考文献: <http://www.asaichi.net/>

「土佐の日曜市」(高知市)



実施主体: 高知市
開催時期: 毎週日曜日 5時~18時(4月~9月)
6時~17時(10月~3月)
主な店舗: 野菜、果物、金物、打ち刃物、植木等
500店舗前後

参考文献: <http://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/39/nichiyouchi.htm>

③ レンタサイクル

観光目的等に用いられる貸し出し自転車。近年、乗り捨て可能など利便性の高いシステムが導入され、好評となっている事例が見られる。

「城まちeco観光レンタサイクル」(和歌山市)



● : 貸し出し場所

経営主体:(株)JTB西日本

実施年月日:2009年7月17日

利用料金:1回500円(電動アシスト自転車)、1回100円(普通自転車)

台数:30台(電動アシスト自転車)、30台(普通自転車)

ポート数:7箇所(+乗り捨て専用1箇所)

③レンタサイクル

乗り捨て可能な利便性の高いレンタサイクルは、国内や海外で拡がりを見せている。

「シクロシティ富山」(富山市)



経営主体:シクロシティ株式会社
実施年月日:2010年3月20日
利用料金※:7日パス1,000円
台数:150台 ※1回30分以上の利用で追加料金
ポート数:15箇所

参考文献: <http://www.cyclocity.jp/>

「Vélib'」(フランス パリ)



経営主体:JC Decaux社(広告会社)
実施年月日:2008年7月15日
利用料金※:1日1ユーロ、1週間5ユーロ
台数:20,600台 ※1回30分以上の利用で追加料金
ポート数:1,205箇所

参考文献: <http://www.clairparis.org/img/pdf/new/2007/03.pdf>

④祭り等

紀州おどり「ぶんだら節」

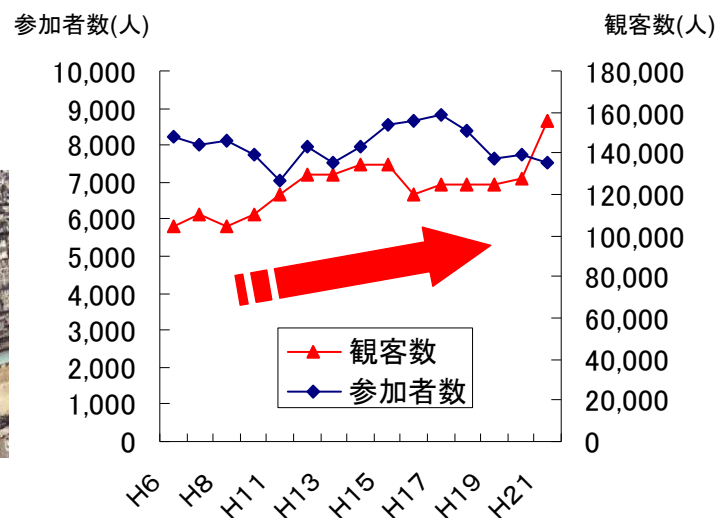
- ・紀州おどり「ぶんだら節」は、昭和44年に和歌山市制施行80周年を記念して始まり、毎年8月上旬にけやき大通り、和歌山城、ぶらくり丁等で開催。
- ・主催：和歌山市紀州おどり実行委員会
- ・開催状況
 - (H21) 観光客数：15.6万人 参加者数：7,359人/68連 （紀州よさこいの共催）
 - (H20) 観光客数：12.8万人 参加者数：7,723人/72連



けやき大通りでの開催状況



ぶんだら節の開催箇所(H21)



ぶんだら節の観客数及び参加者数の推移

参考文献：http://www.city.wakayama.wakayama.jp/menu_1/gyousei/kankouka/odori.html

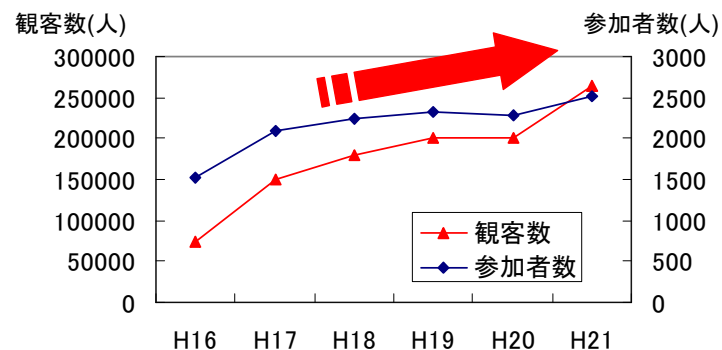
④祭り等

おどるんや～紀州よさこい～

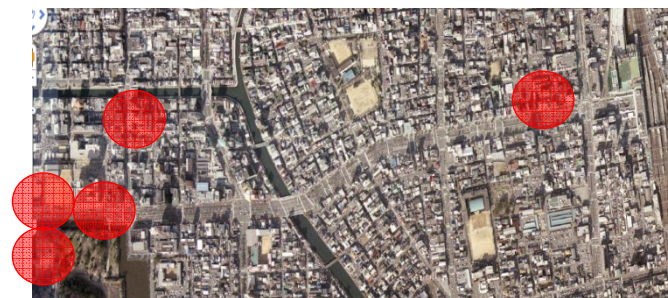
- ・平成16年から始まり、毎年参加者・観客数は増加している。
- ・毎年8月上旬に和歌山市内各所(平成21年は市内8箇所)で開催。
- ・主催：NPO紀州お祭りプロジェクト
- ・開催状況：(H21) 観光客数：26.4万人 参加者数：2,516人/58チーム



けやき大通りでの開催状況



おどるんや～紀州よさこい～参加者数の推移



けやき大通り周辺の開催箇所(H21)

参考文献：<http://www.kishu-yosakoi.jp/>

④祭り等

道路上で祭り等を行う事例があり、開催時には多くの人々にぎわいを見せている。

定禅寺ストリートジャズフェスティバル(仙台市 定禅寺通り)



主催: 定禅寺ストリートジャズフェスティバル
実行委員会
開催時期: 毎年9月の第2日曜とその前日
参加者数: 750グループ以上、4,000人以上
内容: 街角をステージとした市民音楽祭

参考文献: <http://www.city.sendai.jp/kensetsu/ryokka/midori100/guide/022/022.html>

フラワーアートフェスティバル(横浜市 日本大通り)



主催: 横浜市
開催時期: 2009年5月2日～4日
参加者数: ボランティア1800人
来場者数: 52万人
内容: 通りを花絵で飾るイベント

参考文献: <http://mainichi.jp/select/wadai/graph/20090502/1.html>

⑤その他イベント

季節のイベントとして、道路空間を用いてイルミネーション等を実施した事例が見られ、数多くの見物人等を集めている。

NIIGATA光のページェント (新潟市 けやき通り)



主催: NIIGATA光のページェント実行委員会
開催時期: 毎年12月10日頃～1月10日頃
来場者数: 約55万人(目標値)
規模: 電球約26万球、けやき210本

参考文献: <http://www.niigata-hikari.jp/>

ひろしまドリミネーション (広島市 平和大通り)



主催: ひろしまライトアップ事業実行委員会
開催時期: 11月10日頃～1月3日頃
来場者数: 60万人以上
規模: 電球数約130万球

参考文献: <http://www.dreamination.com/>

⑥ 広告塔

景観に配慮した広告塔を設置した事例が見られ、
広告収入はまちづくり等にも役立てられている。

パリの広告塔

劇場や映画といった芸術、スペクタクルに限られた広告掲載のみが許可されている。



参考文献:

<http://matome.naver.jp/odai/2124469036310465075/2125404473945023672>

秋葉原の広告塔

オシャレな広告塔になっている。



参考文献:

<http://akibamap.info/archives/50974720.html>

路上占用(イベント等)にあたっての課題

国土交通省は、一定条件を満たす路上イベントに対して、地域の活性化などの観点から弾力的な判断を行うことにより、道路管理者として支援することとしている。

①歩行空間を確保する必要がある。 (2m以上もしくは3.5m以上)

その条件のひとつ「**占用の場所**」については、以下の通りである。

- イ 道路の構造又は道路交通に著しい支障を及ぼさない場所であること。
- ロ 歩道上に路上イベントに伴う占用物件を設置する場合には、原則として、十分な歩行空間(交通量が多い場所にあっては 3.5m以上、その他の場所にあっては 2m以上)を確保すること。(以下略)

②公的な組織づくりが必要である。

その条件のひとつ「**占用の主体**」については、以下の通りである。

- イ 地方公共団体
- ロ 地方公共団体を含む地域住民・団体等の関係者から成る協議会など
- ハ 地方公共団体が支援する路上イベント(地方公共団体が支援する理由及び内容並びに当該路上イベントに係る占用の許可に関する意見を占用許可申請書に付しているもの)の実施主体

道路空間のオープン化について

民間の資金も活用して必要な財源を確保し、真に必要な社会資本の新規投資や維持更新を行うため、道路分野においてその空間利用に着目した新たな官民連携の取組みの推進

•H22.5

国土交通省新成長戦略に、インフラ整備や維持管理への民間資金・ノウハウの活用（PPP/PFI など）として道路空間のオープン化が位置づけられた

•H22.6～7

国土交通省による提案募集

（上部空間への民間施設建設、広告の設置、オープンカフェの設置、バス停と一体化した勾配施設設置等の提案）



安全性、利便性、景観の形成等の観点や、プロジェクトの実施可能性などを踏まえ、制度の検討

「道路空間のオープン化」による成長戦略

道路空間のオープン化

上部空間の民間開放
高架下の民間開放

〔立体道路制度の活用
道路占用制度等の活用〕

民間からの収益還元を活用した
新たな官民連携による
インフラの整備・管理を展開
更新時期を迎えるインフラへの対応

都市の道路空間を活用した、
新たなビジネスチャンスを創出
財政出動を伴わない成長戦略を展開

海外における道路空間の利用例



クイーンズ・キー・ハウス【ロンドン】



売店(新聞スタンド)【ニューヨーク】



フランス大蔵省【パリ】

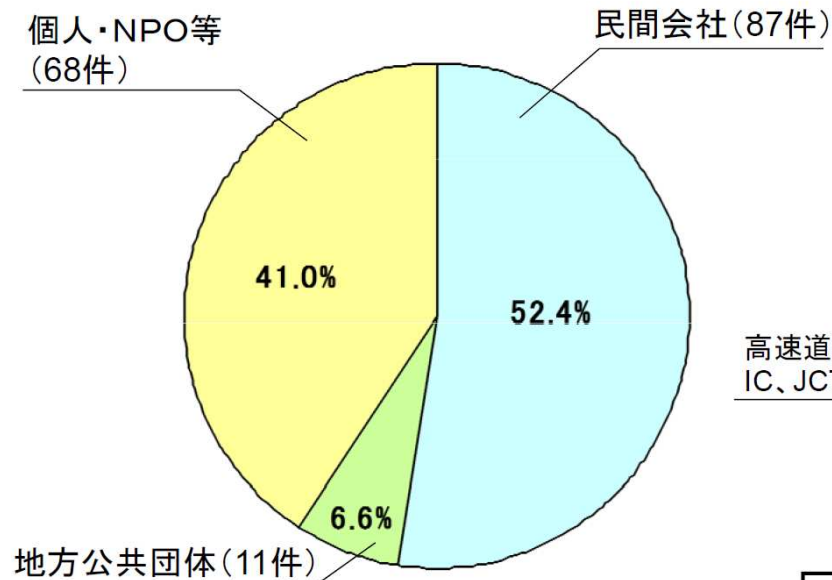


広告塔【パリ】

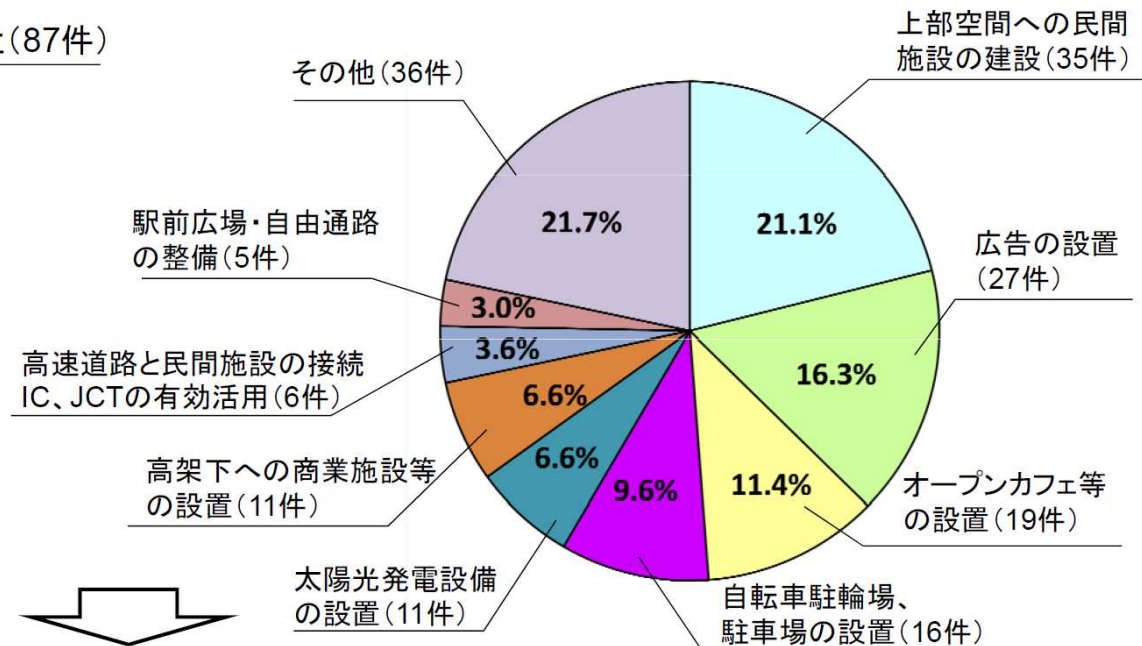
～新成長戦略～ 「道路空間のオープン化」に関する提案募集結果概要  国土交通省

提案募集期間 平成22年6月25日 ～ 平成22年7月31日
提案数 166件

① 提案者の内訳



② 提案内容の内訳



今後、有識者等からの意見を伺いながら、安全性、利便性、景観の形成等の観点や、プロジェクトの実施可能性などを踏まえ、制度の検討を進めて参ります。

～新成長戦略～ 「道路空間のオープン化」の主な提案内容

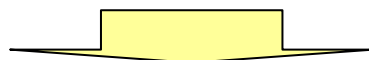
項目	概要	件数
1. 上部空間への民間施設の建設	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高速道路の上部空間を民間開発し、その収益還元を活用して、高速道路の改築 ・ 既存一般道を跨いだ商業ビル等の増床 	35件
2. 広告の設置	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広告付き案内看板の設置 ・ 横断防止柵や歩道への広告の設置 	27件
3. オープンカフェ等の設置	<ul style="list-style-type: none"> ・ オープンカフェの設置 ・ バス停と購買施設の一体整備 	19件
4. 自転車駐輪場、駐車場の設置	<ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティサイクルポートの設置 	16件
5. 太陽光発電設備の設置	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高架側面、法面等を利用した太陽光発電 ・ 歩道上へのソーラーアーケードの設置 	11件
6. 高架下への商業施設等の設置	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高架下への商業ビル等の設置 ・ 高架下への物産店等の設置 	11件
7. 高速道路と民間施設の接続 IC、JCTの有効活用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高速道路と物流施設の一体整備 ・ ICやJCT等へのショッピングモール等の整備 	6件

『ゆとり空間』の開放(オープン化)

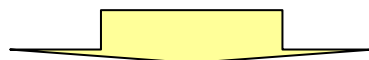
まちの賑わい創出に寄与するために、「ゆとり空間」を市民に開放し、市民が主体となり空間の企画・運営を行い、イベント等の実施に活用して頂くとともに、維持管理も行っていくことが考えられる。

オープン化のステップイメージ

①ゆとり空間の利用について企画・運営方法などを検討



②住民等の関係者から成る組織(協議会等)を設置



③協議会等が、道路空間の占用手続きを行う



④協議会等が利用者を募集し、イベント等の実施



⑤占用料等を利用し、通りの維持管理を行う

憩いの場の形成 ①モニュメント

地域の特性を背景として作られた銅像や彫刻等を設置する事例が見られ、地域の方々に愛され、まちの顔として集客等にも寄与している。

吉宗像(和歌山市)

吉宗公 ブロンズ像



紀州藩出身の徳川吉宗公をたたえ、像としている。

水木しげるロード
(鳥取県 境港市)

猫娘の像



境港出身の水木しげる作品の妖怪をモチーフとした像を設置した道で観光名所となっている。

参考文献:
<http://ja.wikipedia.org/wiki/水木しげるロード>

くわなシンボルロード
(三重県 桑名市)

花菖蒲(市花)の
モニュメント



市花・花菖蒲や文化遺産・千羽鶴をモチーフとしたストリートファニチャーにより、シンボルロードとして整備している。

②噴水・せせらぎ

まちなかに潤いを与える噴水やせせらぎを配置する事例が見られ、周辺住民や訪れる方々の憩いの場を形成している。

噴水
(神戸市 東遊園地)



大石の上から水が流れ落ちる。

せせらぎ
(富山市 富山駅前)



歩道に沿って水が流れる。

道路施設等の維持管理

わかやま道路パートナー(和歌山県)

地域住民・企業・民間団体と県がともに県管理道路の維持管理を担っていく制度

(参加者)

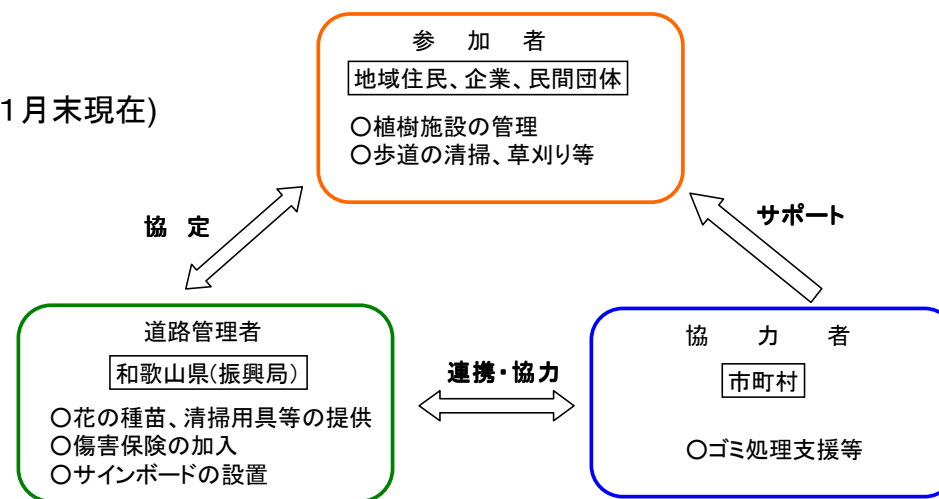
植樹施設の管理(花の植栽、中低木の剪定・水やり、除草等)
歩道の清掃等の活動

(道路管理者)

必要な資材(花の苗、清掃用具等)の提供、活動中の事故に備えた傷害保険への加入、サインボードの設置等の支援

※平成21年度事業開始

けやき通りのパートナー 26件 (平成22年11月末現在)



その他 ムクドリ対策

■ けやき大通りの状況

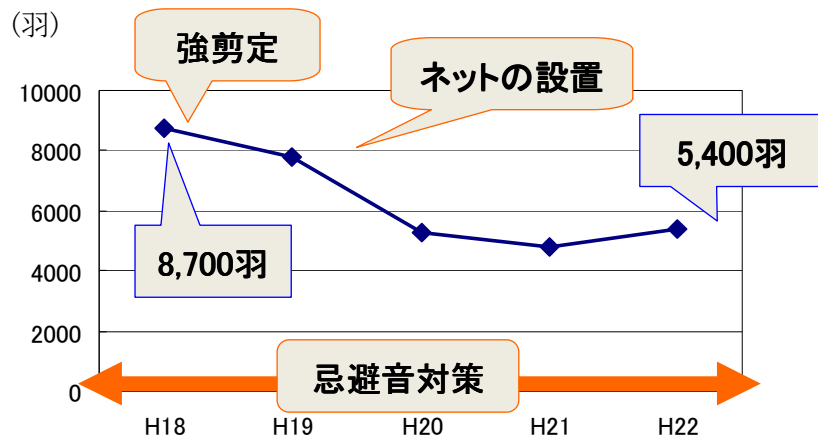
○今年度の状況

(飛来数)最大約5千羽程度

9月～10月になっても5千羽を超える日があった

○今年度の対策

- ・忌避音での追い払い



ムクドリの最大飛来数の変遷



全長24cm程度。夕方になると集まり、街路樹等で集団で寝る習性があり、多いところでは数万羽にもなる。

その他 ムクドリ対策

■各地の対策状況

○千葉県我孫子市

6月下旬から12月上旬にかけて網掛け剪定を実施

網掛けについては、食品を扱っている店舗周辺等の必要最低限に実施

○千葉県市川市

ねぐらが形成される以前に剪定・防鳥ネットの張り直しを実施

※早い段階で対策を実施することで長期定着をふせぐ方針

街路樹の下に透明の屋根を設置

○富山県富山市

忌避剤を枝に設置(1平方メートル辺り5千円)

○長野県長野市

平成20年より木酢酸を入れたペットボトルを設置

その他 ムクドリ対策

表 鳥害防止技術の概要と評価

鳥害防止技術	概要	評価
A.直接的遮断 (防鳥網)	・防鳥網で作物等を覆う。(ムクドリは30ミリ以下の網を使用)	・最も確実な被害防止策であるが、設置や撤収に手間がかかり、コストも高い。
B.物理的飛来妨害 (テグス、ひも等)	・テグス等を、害鳥が翼を広げた長さ以下の間隔で張り巡らす。 ・間隔が狭いほど効果あり。	・絶対的な遮断ではない。
C.追い払い道具類 (視覚系と音声系、複合型がある)	・視覚系として防鳥テープ、吹流し、かかし、鳥の死体等がある。 ・音声系として、爆音機、悲鳴(遭難音)等がある。	・一時的には効果があるが、日数の経過とともに慣れて効果がなくなる。
D.化学物質による摂食防止 (忌避剤)	・田畑のような広い面積で播種期に有効な対策である。	・一定の効果は期待できるが、他の餌が少なく被害の激しい時期には忌避剤処理した種子も食害されてしまうことが多い。
E.耕種的防除 (播種深度の調整、一斉播種など)	・鳥害を受けにくい作物や作期を選ぶという昔からの技術に加え、播種深度の調節、水深管理、一斉播種、播種時期の調節等がある。	・播種深度の調節、水深管理などは個々の農家ができるが、一斉播種等は地域単位で取り組む必要がある。
F.駆除・個体数管理 (狩猟、駆除、生息地管理)	・狩猟や駆除の意義は鳥と人間との緊張関係を維持することであり、その結果防鳥機器の効果も高めることができる。 ・人里に暮らす鳥に対しては、ゴミや作物のくずなど、人に由来する餌を鳥に食べられないようにして、餌量の制限によって地域の個体数の上限を低くしていくことも大切である。	・捕殺によって個体数を減らすことは困難か、もし可能であってもコストに見合わない。

参考文献1 : 鳥類の生態と被害対策 —カラスとヒヨドリを中心に—

参考文献2 : 鳥類の生態と防除対策のポイント —カラスとヒヨドリを中心に—

1,2ともに、(独)農業・食品産業技術総合研究機構 中央農業総合研究センター

鳥獣害研究サブチームによる